

ご存知ですか？

サードHANDSモーク



サードHANDSモークとは、たばこを消した後の残留物から有害物質を吸入することをいい、残留受動喫煙、三次喫煙ともいいます。

煙の有害成分(粒子)が室内壁や衣類、家具に付着し、**煙が焼失後**も有害な物質を放出し、それにより健康被害を受けます。

「臭い」のもとには粒子です。ホテルなどで、喫煙者が使った後にたばこの臭いを感じているのもサードHANDSモークです。消臭剤を使ってもたばこの臭いを隠すだけであり、有害成分は消えません。

「一緒の部屋で吸っていないから、だれにも迷惑をかけていない」というのは大きな誤りであり、たばこを吸っているだけで、衣服や髪の毛、呼気からも有害成分は発されており、周りの人がその有害成分を吸っているのです。

サードHANDSモークの例



たばこを吸い終わった喫煙者にも、たばこの有害成分は付着しています。



髪の毛

喫煙者の呼気

喫煙者の手指

衣服